

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	キャリアデザインIV(DB)	(TDB206)
講義名 (コード)	TDB_キャリアデザインIV	(TDB206)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数 2
授業担当者	飯塚 光博	時間数 30
成績評価教員	島田 昭二	講義期間 秋学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	社会人になる前に必要な労働知識・スキルを身につける。
全体の内容と概要	日本社会の成り立ち・日本社会の労働環境と課題・個人のキャリア形成について取り扱う。毎回の授業において1回は必ず発言させる。
授業時間外の学修	授業にて終わらなかった課題について、宿題として課し、次の授業において提出すること
履修上の注意事項等	グループワーク等に積極的に参加すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	後期の授業の進め方	内定者の心構え/未内定者の心構え/後期授業の目標/これからの就職活動/日本社会の働き方
2	社会人講話・企業講演	現役社会人からの「生の声」を聴き仕事観、業務のやりがい。将来展望を学ぶ。
3	キャリア形成とエンプロイアビリティ	【講義】内的キャリアと外的キャリア/企業が求めるスキルとは【演習】討議テーマ「自分が今後身につけたいスキル・知識」
4	企業研究演習①	情報収集・応募する/合同企業説明会を調べ参加エントリー/企業を比較し企業研究/業界ごとの特徴（年間休日数や働き方（シフト制・週休二日制））の
5	ハローワークとは	ハローワークジョブサポーターによる求人紹介及び講演
6	DX社会とキャリア	【講義】デジタルトランスフォーメーション（DX）、AIで働き方はどのように変わるか【演習】討議テーマ「AI活用によって残る仕事と消える仕事」
7	企業内でのキャリア形成	【講義】総合職のキャリア形成（異動・転勤）/上司部下のタテの関係/能力主義と年功序列/転職/753現象/ジョブ型雇用とメンバーシップ型雇用【演
8	企業研究演習②	情報収集・応募する/合同企業説明会を調べ参加エントリー/企業を比較し企業研究/業界ごとの特徴（年間休日数や働き方（シフト制・週休二日制））の
9	資格試験とキャリア	【講義】社会で認められる資格とは/資格取得の目的/民間資格と国家資格【演習】討議テーマ「資格取得のメリット・デメリット」
10	働く人のための法律	【講義】労働基準法/最低賃金とは/36協定とは/妊娠して解雇されることはない/有給休暇/働く人のための法律/内定/内定辞退/内定取消/雇用条件通知
11	女性のキャリアを考える	【講義】女性だけの問題ではない「女性が働きやすい社会」/産休・育休とは/M字カーブ/妊娠と子育て/男女共同参画社会/女性活躍（海外の事例・日本
12	外国人のキャリアを考える	新しい在留ビザ「特定技能」とは/訪日外国人観光客（インバウンド）の今後/日本企業が外国人に求めること/技術・人文知識・国際業務とは/外国人社員
13	期末試験	レポート提出 作文「専門学校2年間を振り返って」（300字以内）学習レポートの活動実績と評価
14	期末試験のフィードバック	期末試験の弱点などをフィードバックする。
15	専門年間の学びの総括	1年次からの目標達成度の自己評価、今後の目標

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	進路活動ハンドブック+プリント教材
参考文献・資料等	
備考	